

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	生活排水対策推進事業	所管	環境クリーン部 環境対策課
			TEL 2998-9230

事業の目的 (何の為に 行うか)	市内の不老川支川へ排水している家庭に対する啓発活動を通して、支川の水質改善を図る。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	不老川流域内の下水道未整備区域の住民	対象とした数	6,028	人
		実際に 利用した数	6,028	人

活動の内容 (何を したか)	1. 生活排水対策指導員の育成・活動支援 ①所沢市生活排水対策指導員設置要綱に基づく指導員の委嘱。②研修会の参加③水質測定の実施④流域住民への啓発活動の実施 ①啓発パンフレットの配布 2. 不老川清流再生事業 3. 河川浄化団体との連携 ①研修会の実施②生活排水対策の普及啓発								
	活動実績	項目名	生活排水対策指導員の人数	8 ----- 単位 人	項目名	生活排水対策指導員の育成・指導	11 ----- 単位 回	項目名	地区文化祭における啓発人数

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	213	198	5,459	16.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	不老川3支川の市境における環境基準(E類型BOD 10mg/L)の達成地点割合	環境基準達成地点数/測定地点数	100 ----- 単位 %	67 ----- 単位 %	67.0 ----- 単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []	終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	050200	TEL	2998-9230
事業コード	生活排水対策推進事業	環境	環境	環境	環境	環境
050209		部課	環境	環境	環境	環境
開始年度	平成 6 年度	→	終了年度	平成 年度		

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令			
	分野別計画・指針	不老川清流再生事業計画、第2次不老川生活排水対策推進計画			水質汚濁防止法、埼玉県生活環境保全条例、所沢市生活排水対策指導員設置要綱			
	関連・類似事業	清流ルネッサンスⅡ行動計画、不老川清流再生事業、埼玉県生活排水処理計画、里川づくり県民推進事業						
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	5節 環境保全	中柱	2 水・土壌環境の保全	小柱
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 8 位		・実施計画における位置づけ…H19 ○ H20 ○					
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ							
	コード	3261	事務事業見直しの推進	コード				
	事業開始の背景	平成3年に不老川流域(所沢市、狭山市、入間市、川越市)が水質汚濁防止法に基づく、生活排水対策重点地域の指定を受けたことから、「不老川生活排水対策推進計画」を策定し、家庭からの生活排水対策を推進し、不老川の水質改善に向けた取り組みを開始した。						

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)									
	市内の不老川支川へ排水している家庭に対する啓発活動を通して、支川の水質改善を図る。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方						
	不老川流域内の下水道未整備区域の住民			不老川流域内の下水道未整備区域の住民数						
	対象数	単位	平成 18 年度	5,597	人	利用数	単位	平成 18 年度	5,597	人
			平成 19 年度	6,028	人			平成 19 年度	6,028	人
	事業の具体的な内容及び実施方法									
	1. 生活排水対策指導員の育成・活動支援 ①所沢市生活排水対策指導員設置要綱に基づく指導員の委嘱。②研修会の参加③水質測定の実施④流域住民への啓発活動の実施									
	2. 不老川清流再生事業 ①啓発パンフレットの配布 ②河川浄化団体との連携 ③研修会の実施④生活排水対策の普及啓発									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 <input checked="" type="checkbox"/> >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	平成19年度中に改善した点					
	経費を削減するため、配布する啓発物を市販のものでなく、職員の工夫によるもの(ティッシュペーパーに貼るシールを作成)とした。					

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		1,230	213	260	
	決算(見込み含む)		633	198		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.93 人	8,556	0.56 人	5,261
	公債費					
	事業費合計		9,189	5,459		
	財源内訳	一般財源		9,189	5,459	260
		国・県支出金				
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		27.2	16.1			
利用数一単位あたり(単位:円)		1,641.8	905.5			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	生活排水対策指導員の人数	人	8	8	8		
		生活排水対策指導員の育成・指導	活動回数	回	13	11	12	
		地区文化祭における啓発人数	生活排水対策アンケート参加者	人	293	390		
成果分析	不老川3支川の市境における環境基準(E類型BOD 10mg/L)の達成地点割合	環境基準達成地点数/測定地点数	%	目標値	100	100	100	100
				実績	67	67	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
				%	達成率	67.0	67.0	1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	明らかとなった課題	生活排水対策に関する啓発物のコスト削減を継続する必要があるが、啓発物の有無がアンケート数に少なからず影響する。			
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	不老川流域の家庭に対する啓発活動 生活排水対策指導員との活動の協同	指導員との活動の協同については、年4回の会議や地区の文化祭への参加	平成21年3月末	
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	評価理由	啓発物(生活排水対策グッズ)の配布は、指導員の活動のし易さ、啓発人数などに影響するため、重要なアイテムである。また市民を巻き込んだ簡易水質検査の実施も河川水質への意識向上に効果的である。このため、これらの資材の購入は不可欠であり、現状どおりとする。			
	評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	環境対策課長 中 勉	

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
		評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	評価日							

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ…有り	計画コード	121
	施策の体系	1-2水質汚濁の防止	施策の方向	1-2-1生活排水・下水道整備等の浄化対策の推進
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ…無し	計画コード	
	基本目標			
主要課題				
施策の方向				